



## 防災について考える

校長 西田和弘

3学期がスタートしてもう1か月が過ぎようとしています。3学期は子どもたちも、教職員にとってもまとめ・ふりかえり・総括の時期になります。自分自身をしっかりとふりかえりR6年度にむけて計画的にそして主体的に行動ができるように、年度内でのまとめ・ふりかえり・総括をしっかりと行っていきたいと思います。

さて、皆様にご報告がございます。彩和学園が文部科学省より表彰を受けることができました。「令和5年度文部科学大臣優秀教職員表彰」の団体部門での表彰です。彩和学園の子どもたちのがんばりはもちろんのこと、保護者のみなさまをはじめ、地域の方々のご協力、ご支援によりまして、小中一貫校の開校までの軌跡や開校後の各取組が評価され、今回の受賞に至ったと感じています。この受賞の報告を受けたときは「これまで行ってきたことに間違いがなかった」と思える瞬間がありました。本当に光栄でありがたいことと思っています。改めて、皆様に感謝の思いをお伝えいたします。ありがとうございます。



標題にあるように、1月19日の避難訓練（地震避難）では、子どもたちは一人ひとり真剣に訓練に参加する様子がありました。その時に、「自分自身で身を守る」「自分にできることを考える」「考えたことを行動に移す」の3つの話をいたしました。能登半島地震が起こり今もなお避難生活を余儀なくされている方があり、また29年前には阪神淡路大震災があったこの時期に、子どもたち自身がこの3つのことを主体的に考え行動できるようになってほしいという思いからです。もしもの時の正しい行動が、自らの命を守り、また周りの人の命を救うことにつながると思います。決して容易いことではありませんが、常に考え、行動していこうと思いつけることは大切です。

2月10日（土）10時から子どもたち対象の「防災教室」を、同じく、23日（金祝）には地域の防災訓練があります。多くの方に参加していただきたいです。

**“You can! 終始一貫 MEIJIKE” を合言葉に!**

彩和学園 【めざす子ども像】

「今と未来、社会でいきる自分らしさを」～すすんで「挑戦」 つづける「継続」 つながる「共生」～